

**第１８２回（９月）例会　　 参加費300円**

**参院選の結果と憲法問題**

**お話：菱山南帆子さん**

**戦争させない･９条壊すな総がかり行動｣実行委員会**

**日時:９月１８日(日)13:30～**

**場所:たづくり10階1001学習室**

**主催：｢国葬｣反対実行委･総がかり行動実行委**

**安倍元首相国葬反対､改憲発議と大軍拡やめろ！**

**さようなら戦争､さようなら原発 9･19大集会**

**日時:９月１９日(月･休)13:30～**

**場所:代々木公園野外ステージＢ地区**

**★調布からの参加者は**

**12:40 京王線西口広場側の改札口前に集合**

**主催：｢国葬｣反対実行委･総がかり行動実行委**

**安倍元首相｢国葬｣反対！**

**9･27国会正門前大行動**

**日時:９月２７日(火)１４：００**

**場所:国会議事堂正門前**

**★調布からの参加者は**

**13:15 新宿駅丸の内線改札口で待ち合わせ**

**同時刻(14:00)に調布駅前でも行動します。**

**第１８３回(10月)フィールドワーク例会**

**防衛省市ヶ谷地区施設内に戦争の史跡を訪ねる**

**大本営地下壕跡､東京裁判法廷など**

**＊要事前申込、詳細は例会案内を**

**日時:１０月１３日(木)12:40～**

**場所:JR市ヶ谷駅改札口前集合**

第**208**号（２面）**2022年9月6日**

**発行:調布九条の会「憲法ひろば」**

**E-Mail：chofu9jou@yahoo.co.jp　WEBサイトhttp://www.geocities.jp/chofu9jou/index.html**

**第１８１回**

**憲法ひろば**

 **憲法ひろばにゅーす200号発行記念出版のご案内**

**2022年3月1日発行　にゅーすで見る調布｢憲法ひろば｣の足跡＜第４集＞**

**このまちで普通に平和に暮らしたい**

**A４版横向き･204頁　頒価500円 送料84円　送付先住所を添え事務局にお申し込み下さい**

**郵便振替00170-6-445473 加入者名：大野哲夫**

**▼わかりやすい講演でした**

　網羅的に話されて、　２０２０年の２つの出来事につながりわかりやすい講演でした。また、山下さんの講義をお願いします。

 （星埜美智子・国立市）

**▼フェミニズムと結びつけていなかった**

　「慰安婦」問題を日本の侵略の象徴として捉えてきた私は、古典的な思考にとどまったままだったのでしょう。「フェミニズム」と結びつけては考えたことがありませんでした。（無記名）

**▼前の話が長すぎて残念**

 「２０２０年５月と　７月の事件について話したい」と言う講師の希望を叶えてほしかった。そこに至るまでの話が長すぎた。15時になってやっとそこへたどり着き、30分しかなかったのが残念。スライドがわかりやすく、人物写真が多くて理解しやすかった。付録の年表も面白く、ありがたい。興味深いお話をありがとうございました。

　　　　　　　（無記名）

**▼改めて考える機会に･･･**

 かつて調布でも韓国の慰安婦の人たちの描いた巡回絵画展を市民有志で実施したことがあります。ハルモニたちのお話も聞いています。日本の侵略戦争の責任もそのままに、今日の日韓関係に至っています。フェミニズムの視点で改めて考える機会になりました。　（石黒紀子・三鷹市）

**▼驚天しました**

　最後のご説明に同感だからです。つまり「議論がない、討論がない」ことが、小生は日本民族の美点すべてを否定するほどこの事が決定的だと長年思い続けておりますので。同じお考えの研究者先生にびっくりです。（山岸信夫・西つつじヶ丘）

**▼考えさせられた講演**

　いろいろなことを考えさせられた講演でした。ありがとうございました。　（無記名・多摩市）

**▼ナショナリズムとフェミニズム**

「慰安婦」問題については、日本の支援者たちのたゆみない献身的な活動を見てきたので、ユンミヒャン問題がよく理解できなかったが、お話でよくわかった。つまり、この問題にはナショナリズムが骨がらみになっているので、加害国である日本では政治的にも社会的にも受け入れられないのに対し、被害国である韓国では一定の政治的力となり、これが運動の変質を招いたのだろう。一方「慰安婦」問題がフェミニズムの問題とは思わなかったという会場からの発言には驚いた。戦争には必ず性暴力が伴うことをみても、支配の根源には性的支配があることが明らかだ。エンゲルスは「最初の階級闘争は男と女の闘争だ」と言った。フロイトはあまり好きではないが、暴力の根源を男性の性欲にみていることにある程度同感する。憲法ひろばに集う善良な男性諸氏には申し訳ありませんが、被害者たちが身をもって「平和」を訴えていることの意味をよく考えていただきたいと思う。

　　　（布田・石川康子）

**岐路に立つ韓国フェミニズム**

**2022/８/27**

**参加者の**

**感　想**

**調布｢憲法ひろば｣例会等のご案内**